



【インシデント報告】検査依頼書の誤読トラブル
 ～正確な患者名での検査報告書をお返すために～

検査管理課

当検査センターにおける現行の検査システムは、検体集荷から結果報告まで、バーコードラベルによって一元管理されております。しかしながら、検査依頼書の患者名まではバーコード管理できないため、黒のボールペンで手書きしていただいています。その検査依頼書を当検査センター読取り機（OCR）で取り込み、あるいは、確認のために目視するわけですが、これまで誤読トラブルが多数発生しています。

つきましては、恐れ入りますが、手書きのカタカナを楷書で書いていただくよう、改めてお願い申し上げます。

事例紹介(一部):

- ・患者報告書の患者名にミスがあり、患者さんから（医療機関の方へ）苦情を言われた。
- ・患者名を間違え、検査報告書の差替えのために時間を要し、結局翌日のお届けになった。
- ・異常データが出たため医療機関に電話報告してみるも、該当患者がいなかったと言われた。

誤読されたサンプル:

ユ → 誤: ユ (正: コ) ツ → 誤: ツ (正: シ) チ → 誤: キ (正: チ)

▼間違いやすいカタカナ表記一覧

ア	マ	サ	カ	ナ	メ
イ	ト	シ	ツ、ミ	ニ	ン
エ	コ、ニ、ユ	ス	ヌ、マ	ノ	1
オ	カ	セ	ヒ、ヤ	ハ	へ、ム、ル
オ	ホ	ソ	リ、ン	ヤ	マ
カ	ヤ	タ	ヌ、ヲ	ヲ	ヨ
キ	チ、モ	チ	キ、テ、ラ		
ク	フ、ワ、7	チ	4		
ケ	チ	ト	メ		
コ	ユ、ロ				